

ロボット保全情報の簡単見える化

事例 | ロボットの保全業務

Webブラウザで遠隔監視

異常の早期発見



エラー発生時のプログラム行番号まで見える!

総通電時間など
保全に役立つデータ

バッテリー点検期限



予兆保全を支援するデータ

見どころ①

運転状態見える化で ダウンタイムの長期化を抑制

- 突発停止時は原因把握に時間を要し、ダウンタイムが長期化しがちです。デンソーロボットメンテAppは運転状態見える化で、ダウンタイム短縮を支援します。
- Webブラウザでロボットの運転状態をリアルタイムに見える化し、異常の早期発見を支援。初動対応を迅速化し、ダウンタイムの短縮に貢献します。
- 発生エラーの詳細を遠隔から確認可能。現場に向かう前に必要な準備ができ、異常対応時間の削減につながります。

見どころ②

データに基づく保全活動を支援

- バッテリー交換要否を見える化することで、交換タイミングを定量的に判断できます。
- ロボットの使用時間や各軸モーターの累積回転数を見える化。データに基づく保全判断を支援し、担当者の勘や経験頼みで発生するばらつきを低減します。
- 1サイクルのロボット動作における負荷率最大値の推移を見える化。異常兆候の発見を支援し、突発対応の削減に貢献します。

見どころ③

Webブラウザから、専門知識を 必要とせずログデータ収集が可能



- ログ出力に必要なのはWebブラウザのみで専用ソフトは不要です。ログ出力ソフトの有無によって発生していた属人化を解消します。
- Web画面上のボタン操作だけでログ出力可能。難しい操作が不要であるため、作業の属人化解消と工数低減に貢献できます。
- 出力ログデータはWINCAPSIIIと同一フォーマット。デンソーロボットメンテApp導入前後のログデータが混在した状態でもデータ活用できます。